

令和3年度起業支援事業費補助金採択者で開業された方を訪問

令和4年2月10日（木）

宮津市にある事業所の「トップローブ」を訪問し、個人事業主である嵐弾次郎さん(注：リングネーム)に出迎えてもらいました。



●嵐弾次郎さんにヒアリング (起業しようと思った動機)

出身は綾部市ですが、宮津市でアマチュアプロレスの試合を主催（興行）したときに、この店舗の隣にある居酒屋さんたちと繋がりができたことがきっかけで、地域の方々からさまざまな後押しを受けることができ、この地域で起業しようと思いました。

(事業のアピールポイント)

料理は全て嵐弾次郎さんの手作りで、テイクアウトにも力を入れています。店舗には、WEB デザイナーの肩書も持つご本人が手がけたプロレスイベントのポスターを展示したり、アニメーションのフィギュアなどを数多く飾ることで、宮津市内にはまだ数少ない、お酒を片手に趣味を語り合うことが出来るお店のつくりとなっています。接客はいつもマスクを被って接客されるため、プロレスファンのみならず、地元の方々の憩いの場となりそうです。令和3年度起業支援事業費補助金では、古民家を店舗に改装する経費に活用されました。

(今後の事業展開)

2件目に足を運んでもらうお酒の提供をメインとしたお店として、令和4年1月25日(火)にオープンしたばかりですが、まん延防止等重点措置対策期間により、お酒の提供に制限がかかる日々が続いている状況にあり、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながら我慢の営業を継続、まん延防止等重点措置対策期間明け等、早く本格的な営業ができる日を心待ちにされています。

●中小企業応援隊の声

宮津市内では、いつの間にか新しい店舗ができていたり、創業が盛んな地域と感じています。コロナ禍を逆に好機ととらえ、新しいことを始めることで環境を変えていこうと考える方が多いのではないかという印象を持っています。

嵐弾次郎さんは令和3年3月頃の早い段階から起業の計画されていたため、起業支援事業費補助金の申請書類の作成については余裕を持って準備することが出来ました。

こうした起業が自発的に生まれる地域の創業担当として、地域コミュニティにアンテナを張ってこれからも支援していきたいと思っています。

手作り料理のメニュー (左)

起業支援事業費補助金を活用して古民家を改装 (右)

